

## 観察会報告

### 富士山御中道、宝永火口観察会

文：三宅 隆、写真：三宅飛鳥、横山謙二

台風 6 号の九州接近で、天気が心配されましたが、西臼塚駐車場に 10 時に集合しました。

参加者は 26 名。夏季の期間には一般車両は通行止めとなるスバルラインで、静岡県 RDB などの調査員として通行許可を得ている車 6 台に分乗して出発しました。

5 合目には 10 時半ころ到着。登山者で混雑している 5 合目登山口を過ぎて、御中道入り口付近の駐車場に車を止め、昼食と雨具を用意して、御中道の散策路へ入りました。

途中では、メボソムシクイの「ジュリ、ジュリ」という声や、ルリビタキの声が聞こえました。その他は、休憩したところで、小型のハナカミキリの仲間が何種類か観

察されました。30 分ほどで、宝永火山の第二火口の淵へ到着。ここで、雄大な自然のパノラマに囲まれて昼食となりました。本来なら第一火口の淵まで登ろうと考えていましたが、突然の雨で断念。元の道に戻ることにしました。途中では、ルリビタキの幼鳥がみられ、また夏の終わりころ見られるキベリタテハも見られました。

帰途に、七曲の駐車場に車を止めて、一斉に咲いているヨツバヒヨドリの花に吸蜜に来ているアサギマダラを観察したり、子供たちは採集したりして楽しみました。心配された、天気もなんとか持ちこたえてくれて、無事観察会を終えることができました。



御中道を歩く



ルリビタキ幼鳥



宝永第二火口



ヨツバヒヨドリの花に吸蜜に来たアサギマダラ